

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-005

PDCA	事務事業名	企画展開催事業（新美南吉記念館）		部課等名	教育部 博物館 新美南吉記念館	担当	神谷	
						内線等	26-4888	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： （3）新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ①企画展・童話賞事業						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	常設展示とは違う視点で南吉及び南吉作品を取り上げた企画展（特別展）を実施することで、新たな魅力を感じてもらう。						
	目的を達成するための手段・活動内容	毎年違うテーマで、常設展示とは別に期間限定の企画展（特別展）を開催する。令和元年度の特別展は、南吉の安城下宿80周年を記念し、農業で栄えた安城における南吉の暮らしと、作品に与えた影響について、当館収蔵品の他、安城市からの借用資料も交えて紹介。展示作成は、プロポーザルにより委託業者を選定する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①特別展の開催日数		151	93	92	日	
		②ミュージアムトーク（学芸員による展示解説）		13	8	10	回	
		事業費		2,999	2,794	3,323	千円	
		人件費		3,806	9,062	7,967	千円	
		総事業費		6,805	11,856	11,290	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	①企画展観覧者1人あたりの企画展開催コスト		184	261	188	円	
		成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①特別展1日あたりの観覧者数	実績値	246	258	269	人	
			目標値	250	310	310		
		実績値						
		目標値						
	実績値							
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	A 特別展では、学芸員による調査成果も活かして新美南吉の安城での暮らしぶりをわかりやすく伝える展示ができ、安城で顕彰を行う個人・団体との交流も深まった。秋季企画展は、公開されたばかりのストップモーションアニメーションごんについて、制作会社の全面的な協力の下、人形や絵コンテなど貴重な資料をふんだんに展示し、その魅力を伝えることができた。また、春季企画展の画家による似顔絵描き、秋季企画展のアニメーション監督によるミュージアムトークなどゲストと来館者が触れ合える機会を設定したことで、より市民に興味を持ってもらうことができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 新美南吉の魅力発信という核心を貫きながらも、時宜的な話題を捉え、南吉及びその文学の魅力を毎年の企画展（特別展）の内容に反映することで、来館者が何度も足を運びたい記念館となるよう、今後も充実を図る。令和2年度は、南吉をテーマにした4コマ漫画の原画展、南吉が学生時代に幼年童話を発表した幻の雑誌「カシコイ小学生」の新発見資料と美しい挿絵原画の展示など、文学の堅いイメージを取り払った柔軟なアプローチやビジュアルを通して興味を引き出す展示に力を入れ、南吉ファン以外の広い層への訴求を図る。 ※南吉の東京時代をテーマにした特別展はコロナウィルスの影響により今年度の開催を見送る。						
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①特別展1日あたりの観覧者数				300	人	